

【報道関係各位】

## タイのゴム農事組合や製材所と バイオマス発電用ペレットの原材料調達契約を締結 20年間にわたり年間計約35万トンの原材料の調達が可能に

株式会社 JC サービス（東京都港区赤坂、代表取締役:中久保 正己）は、2月20日（火）から22日（木）にかけて、タイのパンガー県にある6ゴム農事組合と8製材所とバイオマス発電用ペレットの原材料調達契約を締結しました。

本契約は、20年間にわたり、年間計約35万トンの原料調達契約となります。

この契約により、JC サービスはバイオマス発電におけるペレット原材料の確保に第一歩を踏み出しました。

なお、タイのパンガー県で行われた契約調印式では、タイ南部の地方テレビ局のニュースで報道されました。



JC サービスは、今後とも再生可能エネルギー事業を通じて様々な角度から社会に貢献してまいります。

### ＜JC サービスの取り組み＞

- タイ政府から日本政府へのゴムの古木の有効利用への支援要請を受け、JC サービスは民間レベルの国際貢献として、ゴムの古木を原料に現地工場で高品質なペレットに加工して、国内のバイオマス発電所などで利用する一貫通貫の取り組みを始めました。
- 2017年8月にはタイ駐在員事務所を開設し、同9月にはタイ政府の工業省工業振興局（DIP）と基本合意書（LOI）を締結しました。また、タイのカセサート大学と、トレファクションを含む木質ペレット技術等に関して基本合意書を結び、共同研究を行っております。
- JC サービスは、タイのペレット工場の一部でトレファイド（半炭化）ペレットを製造し、それをタイの石炭火力発電所等に混焼用として供給することを検討しております。これはタイにとって地球環境対策（CO2削減）や再生可能エネルギー促進につながり、世界的に逆風を受けている石炭火力発電所の環境調和化にもつながります。
- 今後日本国内の木材のみでは、バイオマス発電で利用できる木材ペレットの不足が生じる可能性が指摘されており、そのためにも海外からの中長期的に安定した競争力ある木質ペレットのサプライチェーンが不可欠です。今回の JC サービスの取り組みは、タイ及び日本の環境・エネルギー政策にとって、大きな意義のある事業と考えられます。

以上

－本件に関する問い合わせ先－

株式会社 JC サービス 管理本部 チーフマネージャー 千葉 修平 TEL:03-3585-1118

－本リリース及び画像に関する問い合わせ先－

株式会社 JC サービス広報事務局(共同ピーアール内)担当:杉浦、大塚、林 TEL03-3571-5228